

困難なケースにも適切に対応し、伝わる『記録』を書く ハラスメント相談担当者セミナースキルアップ編

相談担当者の更なるスキルアップのための講座です。
当セミナーは理論編（動画視聴）＋実技編（対面実施）の
2部構成で実施します。（どちらか一方だけの受講はできません。）

理論編（動画視聴）

配信期間:2026年1月20日(火) 9:30-1月27日(火)9:30

動画による学習で、相談対応スキルと面談記録の書き方の理論を学んでいただけます。
期間中は何度でもご視聴いただけます。また、時間を分けて自由にご視聴可能です。

実技編（対面実施） 2026年1月27日(火)10:30-15:30

会場 全水道会館 /5F中会議室

（最寄駅 JR・都営地下鉄三田線 水道橋駅）

講師による対面での実技指導です。相談対応スキルや面談記録の書き方について
実践的に習得していただけます。

対象 相談担当者、管理職、人事労務担当者、コンプライアンス担当者
内部通報窓口担当者などハラスメント相談に対応する方

定員 15名（定員になり次第締切らせていただきます。）

参加費 賛助会員 ¥35,640（消費税込）／ 一般 ¥39,600（消費税込）

セミナー内容

理論編（動画視聴）

★相談対応スキルアップ

- ・深刻なメンタルヘルス不調、自傷他害の恐れ等危機介入の必要性の判断
- ・専門家の援助が必要な場合と見分けるポイント
- ・スムーズに専門家につなぐために
専門家へのつなぎ方と相談者への対応（つなぎまでの対処等）

★相談担当者に求められる面談記録の書き方

- ・短時間で適切な内容を表現するテクニック
裁判例から見る記録の重要性 / 記録に求められる要素

★リスクマネジメントのための記録

記録の保存と開示

★実践で活用できる記録のフォーマット

SOAP法を活用する・・・SOAP・・・Subjective(主観的情報)・
Objective(客観的情報)・Assessment(見立て)・Plan(支援プラン)

実技編（対面実施）

★実技指導

ロールプレイと面談記録の作成

★困難事例のロールプレイ

★面談記録の実践【個人ワーク・グループワーク】

参加にあたっての留意事項

- ✓以下の場合にはマスク着用にご協力願います。
・ロールプレイ等グループワークを実施している場合 ・咳・くしゃみ等のアレルギー症状に不安のある場合
- ✓体調不良（37.5度以上の発熱や風邪症状等）の場合は参加をお断りさせていただきますので、ご理解・ご協力をお願いいたします（会場には体温計を用意します。）
- ✓会場にはアルコール消毒液を設置しておりますので、入室時の消毒にご協力願います。
- ✓通常時の会場定員よりも受講者数を減らし、受講者間に十分な距離を確保します。
- ✓出入口・窓を定期的に開放し、換気を行います。
- ✓講師・事務局とも当日の検温を実施し、体調不良の場合は参加させません。

理論編（動画視聴）と
実技編（対面実施）が
セットになったセミナー
です。
※配信期間内に理論
を動画で視聴してから、
対面の実技を受講して
ください。

・相談者の様子が心配…
専門家につなぐべき？
どうやってつなぐ？
どう対応していいかわから
ない…

・伝わる「記録」って？リスク
マネジメントのための記録？
あまり意識せず書いて
たけど…

【講師】

理論編（相談対応スキルアップ）

村田 早苗

- （公財）21世紀職業財団客員講師
- シニア産業カウンセラー
- ハラスメント防止コンサルタント
- キャリアコンサルタント
- 米国CTI認定CPC

（むらた さなえ）プロフィール

企業で管理職やハラスメント相談、顧客苦情対応等を経験後、独立。
ハラスメント防止やメンタルヘルス不調者対応など、豊富な企業経験を
活かした、自然体でわかりやすい言葉で伝える講義は説得力がある。



理論編（面談記録の書き方）/実技編（対面）

八木 亜紀子

- （公財）21世紀職業財団スーパーバイザー
- 博士（医療福祉ジャーナリズム学）
- 福島県立医科大学 特任准教授
- アアリイ株式会社 代表取締役
- 精神保健福祉士・公認心理師
- カリフォルニア州臨床ソーシャルワーカー
- 国際EAP協会認定EAプロフェッショナル

（やぎ あきこ）プロフィール

アメリカで日英両語で個人、家族、グループ療法、リーダーシップ養成
トレーニング、コーチングを提供。帰国後、専門家養成、従業員支援、
障害者就労支援、大学教職員のワーク・ライフ・バランス支援、女性研
究者支援、東日本大震災による被災者支援に従事。
著書に「相談援助職の記録の書き方」等。



多様な力が活きる社会に

21世紀職業財団

【21世紀職業財団ホームページからお申込ください】

<https://www.jiwe.or.jp/seminar/open/harassment-skillup-dt-1/skillup260127>

【セミナーご紹介】

本セミナーは企業・団体内のハラスメント相談担当者や人事労務担当者を対象に、被害者からの相談に適切に対応するための「ハラスメント相談担当者セミナー」です。

複雑な相談ケースなどについて実践的な対応スキルを身に付けるためのセミナーで、**動画視聴で学ぶ【理論編】と対面で講師からの実技指導を受けることができる【実技編】をセットで受講いただくコース**です。（動画視聴・対面実技のどちらか一方のみの受講はできません。）

まずは 1 週間の配信期間中に【理論編】の動画を視聴。動画は「危機対応編」と「相談記録の書き方編」の 2 本立てで、ハラスメントの現状とともに危機介入や対応が難しいケースへの必要な知識や対応のポイント、**SOAP**※の手法を用いた相談記録の書き方などについて学び、その後、対面による【実技編】を受講します。

【実技編】の講師は当財団ハラスメント社外相談窓口スーパーバイザーの八木亜紀子氏です。複雑な相談事例をもとにロールプレイを通して、組織での検討や専門家の介入の必要性を見極めるポイントについて学びます。また、理論編で学んだ知識を活かして相談記録の実践を行い、具体的な相談の実演をもとにグループワークによる意見交換と講師のアドバイスを受けながら、記録の手法を体験的に習得していきます。

※SOAPとは？

- S (Subjective) : 主観的情報
- O (Objective) : 客観的情報
- A (Assessment) : アセスメント、見立て
- P (Plan) : 計画

それぞれの項目に振り分けて記録することで、正確な情報が整理され、問題に対する適切なアプローチにつなげる手法です。

【2024 年度 参加者の声】

- 講師の引き出しが多く、現場にありがちな例と含めてお話していただいたのが充実していて良かった。
- 演習のみ対面のハイブリッド形式で非常に良かったです。講師の方の話しわかりやすく学びが多かった。
- 理論は録画、実技は対面でバランスが良くて良かった。
- 動画視聴であったため、繰り返したい部分を見返すことができたので整理できた。相談内容を言語化し客観的に記録を残す難しさを感じた。